

# 50ヘクタールで無農薬栽培米

## 建設・農林水産連携シンポジウム

農水省と建設トップラ

ンナー倶楽部はこのほ

ど、「建設業と農林水産業

の連携シンポジウム―

建設帰農・林建協働の10

年の歩み―」を農水省

講堂で開催した。建設業

から農林水産業に参入し

た20事業者が事例報告

し、コメでは約50ヘクタ

無農薬・無化学肥料栽培に

取り組む紹介があった。

冒頭、皆川芳嗣事務次

官があいさつに立ち、地

域の最後の守り手である

建設業者と農林水産業者

は、地域創生に欠かせな

い存在とし、「有機的な連

携によって、自立と発展

が見いだせる」などと語

った。

事例発表で

は、コメに関

しては松山市

の(柳愛)亀(西

山周代表取締

役)が報告し

た。12年に農

業法人を立ち

上げ、26年産

は約50ヘクタ

面積で工事が閉

期で手のあいた社員約30

人を充て無農薬・無化学

肥料栽培に取り組んだ。

圃場別データを蓄積し、

食味の高位平均化を進め

ている。

堆肥製造は造園業、配

達は営業といった具合



20の建設事業者が取り組みを報告

に、グループ企業が事業

形態の近い分野を担当す

るようにしている。西山

代表は「検証しながら営

農を持続させている」と

説明し、ご飯で提供する

炊飯事業にも注目してい

るといふ。